

| | | | | |
|--|---|-----------------------|---------|------------------------|
| 授業科目名 (英文表記) | 熊野郷土学 2 B ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study 2 B) | | | (新宮会場) |
| 単位数 | 2 (学部生のみ) | 授業形態 | 講義 | |
| 担当教員 | 此松 昌彦、海津 一郎、大橋 直義、平田 隆行、澤田 知樹、鈴木 裕範、ゲスト講師 (井出 明氏、恩田 雅和氏、小山 譽城氏、塩崎 誠氏、足立 直哉氏、西山 修司氏、他) | | | |
| 開講 | 南紀熊野サテライト | 区分 | 学部開放科目 | |
| 実施日・時間 | ① | 11月9日(土) 13:00～17:00 | 教育学部 | 此松昌彦 (ゲスト 井出明氏) |
| | ② | 11月16日(土) 13:00～17:00 | 非常勤講師 | 鈴木 裕範 |
| | ③ | 1月11日(土) 13:00～17:00 | 教育学部 | 海津一郎 (ゲスト 塩崎誠氏) |
| | ④ | 2月1日(土) 13:00～17:00 | 教育学部 | 大橋直義 (ゲスト 小山譽城氏) |
| | ⑤ | 2月8日(土) 13:00～17:00 | 観光学部 | 澤田知樹 (ゲスト 恩田雅和氏) |
| | ⑥ | 2月15日(土) 13:00～17:00 | システム工学部 | 平田隆行 (ゲスト 西山修司氏、足立直哉氏) |
| <p>【授業のねらい・概要】 「熊野郷土学 2 B」では、前回までに地域資源として自然、文化、歴史を学び、地域情報の発信や地域経営、環境保全と自然資源を活用した可能性を学んだ。では山や森、海川と寄り添って暮らしてきた地域が持つ生活史や環境から地域の人々の生活や文化にどのような影響を与えてきたのか、史上の人物に学び、更に今あるまちの魅力を活かした次世代のまちづくりのあり方を、持続可能な視点から考えます。学生、地域づくり関係者、観光関係者、地域ガイド、ジオ関係者、教育関係者、Uターン者等からの受講を期待しています。</p> <p>【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。</p> <p>第1回 「人々の暮らしと先人が遺した観光遺産を考える」～ガイダンス～ 教育学部 此松 昌彦 (ゲスト 井出 明氏) 和歌山県には自然災害、移民、政治弾圧等の悲劇の記憶が数多く存在している。本講では、それらを教訓として後世に伝える手法として、ダークツーリズムという考え方を紹介する。ダークツーリズムは、地域の影の記憶を観光によって学ぶ手法であり、世界的なムーブメントとなりつつある。具体的には、熊野の歴史、文化、自然景観、民俗等を取り上げ、ダークツーリズムの観点からまちづくりへの応用を考えるとともに、新たな観光資源としての開発を試みたい。</p> <p>第2回 「川上小白と香川綾 熊野文化とまちづくり」非常勤講師 鈴木 裕範 川上小白は江戸時代水野家茶頭として千家流茶道を広め江戸千家流祖となった大茶人。香川綾は日本の栄養学の道を切り開き文化功労章を受章した最初の女性科学者。2人に共通するキーワードは「伝統」と「江戸」(東京)。その行動と業績をキーワードに熊野文化を考え、まちづくりの可能性を探ります。</p> <p>第3回 「熊野の光と影ー紀伊半島モデルの衝撃ー」「徐福伝説が紀伊半島にもたらしたもの」「音無家文書からみる近世本宮のライフヒストリー」 教育学部 海津 一郎 (ゲスト 塩崎 誠氏) (前半: 海津)スケールの大きな徐福伝説や法燈国師物語(金山寺味噌・醤油・尺八等を招来)はなぜ生まれたのか。本宮町で文書調査した塩崎氏が真相に迫る。(後半: 塩崎)過去と現代における徐福伝説が熊野に与えた影響はどのようなものなのか、近世本宮において人々はどのような生活を送っていたのか様々なモデルケースから当時の熊野について考える。</p> <p>第4回 「熊野信仰と弘法大師・小栗判官伝説」(ゲスト 小山 譽城氏) 「熊野参詣人物志ー歴史と伝承のあいだ 花山院・平清盛・小栗判官ー」教育学部 大橋 直義 (前半: 小山)万人を受け入れた熊野信仰はどのように成立したのか。弘法大師と小栗判官の伝説をもとに考察し、あわせて蘇りを求めて熊野詣をした当時の人々の暮らしや信仰について考えたい。(後半: 大橋)熊野三山への道のりは、歴代の上皇や貴顕衆庶の実際の旅路であるとともに、多くの伝承・伝説が付着した想像の産物といってもよい側面がある。それを荒唐無稽と切って棄てるのではなく、往時の人びとが言語化・図像化した熊野信仰のありかたを花山院・平清盛・小栗判官の三人の物語から読み解いてゆきながら、熊野のイメージの変遷の歴史を考えてみる。</p> <p>第5回 「夏目漱石と大逆事件」観光学部 澤田 知樹 (ゲスト 恩田 雅和氏) ジャーナリズムが発達した明治時代には新聞や雑誌、書籍が多く発刊された。言論弾圧の中で大逆事件が当時どう捉えられていたのか。夏目漱石の小説や講演から事件当時の熊野での出来事や、その後の大正文化や現代に与えた影響を考える。</p> <p>第6回 「熊野の民家と西村伊作」「西村伊作自邸とチャップマン邸の保全改修」「貴重な建築物の保全活用」 システム工学部 平田 隆行 (ゲスト 足立 直哉氏、西山 修司氏) 新宮市内には建築家西村伊作が手掛けたチャップマン邸や、数々の大正建築や古い町並みが残っている。古い建築やそれらと暮らす人々から見る当時の価値観や民俗から熊野の魅力を考える。 ※現地実習: 最終回の午前中に新宮の街中散策フィールドワーク(西村伊作の建築物の視察等)を予定します。</p> <p>【到達目標】 熊野地域の振興について考え、自らのことばで語り、興味に基づいて自ら文献等を調べることができる。</p> <p>【教科書】 特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。</p> <p>【参考書】 「ダークツーリズム 悲しみの記憶を巡る旅」 幻冬舎新書 井出明 著、「ダークツーリズム 拡張ー近代の再構築」美術出版社 井出明 著、 「世界とつながる日本史」ミネルヴァ書房 村井章介監修 海津一郎・稲生淳 編著、 「わかやまを学ぶ: 紀州地域学 初歩の初歩」清文堂 東悦子・藤田和史 編</p> <p>【授業時間外学修】 紀伊半島の産業のニュースや地域での話題について整理しておいてください。復習と自主的な学習が必要です。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自で参考書等を読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が、地域の暮らしにどうつながるのかを考えてみてください。</p> | | | | |